

宅 地 概 要（第一次スクリーニング結果）												
盛土番号	備前瀬戸06-01	宅地名			造成(許可)年代		S50～S55					
所在地住所	瀬戸内市長船町牛文											
盛土形式	■ 人工造成地      (    ■ 谷埋め型      □ 腹付け型    )    □ 自然斜面											
盛土形状	盛土面積A	15,312	m <sup>2</sup>	盛土幅W	283.09	m	盛土距離d	54.09	m	天端幅(腹付け型)L	—	m
	盛土高さH	11.1	m	盛土厚さD	8.40	m	原地盤勾配α	11.3	°			

宅 地 概 要（第二次スクリーニング計画の作成）		
優先度評価項目	判 定（ 記 事 ）	
① 盛土および擁壁の形状と構造が標準的な形状と構造に該当	<input type="checkbox"/> 非該当 <input checked="" type="checkbox"/> 該当	( )
② 宅地地盤・擁壁・のり面の変状	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	( 擁壁、排水工、道路の変状 )
③ 地下水	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 可能性有	( )
④ 盛土の下の不安定な土層	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 不明	( )
⑤ 造成年代 (基準年以前／後)	<input type="checkbox"/> 以前 <input checked="" type="checkbox"/> 後	( S50～S55 )
⑥ 変動確率	<input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 小	( (方式2) 35 % )

【総評】	・擁壁とその基礎の変状(植生異常、うき、鉄筋露出、ひび割れ、剥離、目地開き)が見られる。 ・排水工の変状(土砂堆積、沈下)が見られる。 ・道路の変状(ひび割れ)が見られる。 ・想定被害形態は、擁壁の不安定化による擁壁倒壊・背面土の崩壊と想定する。 ・優先度は、盛土・擁壁の形状・構造は標準的であるものの、宅地地盤・擁壁の変状が認められるため、A4評価とする。	想定被害形態
		崩壊
		優先度
		A4

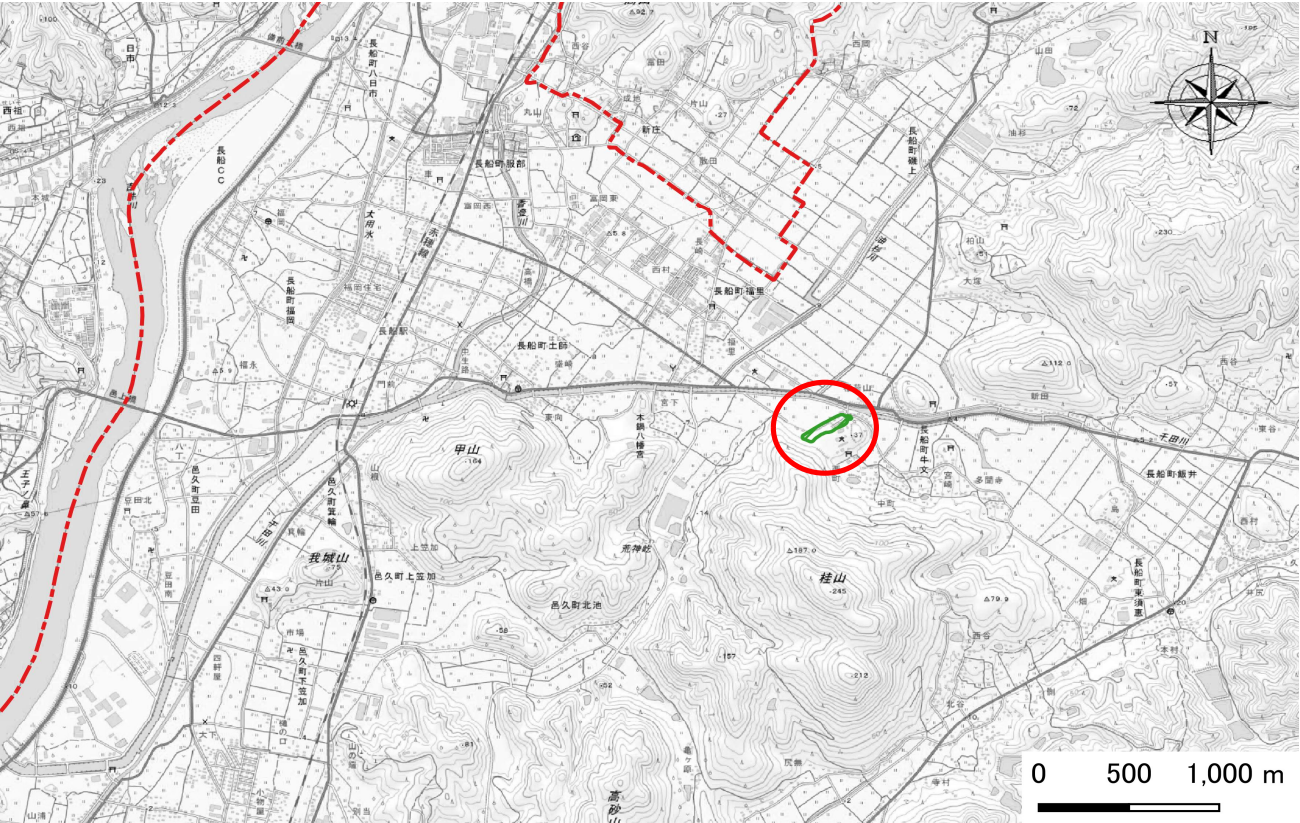
宅 地 概 要（第二次スクリーニング）					
---------------------	--	--	--	--	--

【地盤定数】			【安定計算結果】		
	代表N値	単位体積重量 (kN/m <sup>3</sup> )	粘着力 (kN/m <sup>2</sup> )	内部摩擦角 (°)	せん断波速度 (m/s)
B	4	20.7 (試験値)	1.6 (試験値)	34.7 (試験値)	－
Dc1	18	18.0 (一般値)	144 (計算値)	0	－
Dc2	6	16.0 (一般値)	48 (計算値)	0	－
Dg	45	20.0 (一般値)	0	35.0 (計算値)	－
Dc3	40	18.0 (一般値)	320 (計算値)	0	－

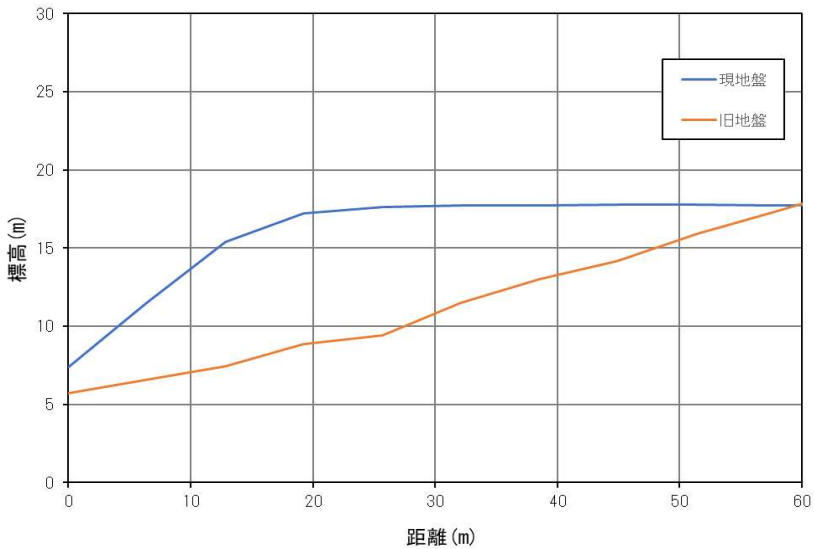
	常時	地震時
盛土全体	3.94	1.66
盛土全体(降雨の作用)	3.77	－
ひな壇部	－ (ひな壇なし)	

【総評】	盛土下位の基礎地盤は大きな強度を有していることから、盛土と基礎地盤の地層境界を通過する直線すべりにより盛土の安定性を評価した。  常時、降雨、地震動のそれぞれの作用に対するすべり安全率は目標安全率を満足する結果であることから、当該盛土の安定性は確保されており、地盤に起因する破壊や変状は発生しないものと考えられる。
------	---

【位置図】
-------



【断面図】
-------



変動予測調査後
---------

【工事の記録】

【点検の記録】